

守ろう子どもの人権 ～いじめゼロの小山市をめざして～

いじめの根絶に向けた
小山市の取り組みを紹介します。

いじめゼロ子どもサミット 子どもの立場で

～いじめは重大な人権問題です～

大人の立場で 小山市いじめ等防止市民会議

主体的な話し合いを通して、児童生徒が自ら「いじめのない明るく笑顔あふれる学校」にしていくことを目指して、平成25年度から実施しています。

令和元年度テーマ「それっていじめのサイン？その時、あなたならどうする？」

日常的に見られる行動が「どうしていじめにつながると考えられるのか」「どのように対処していったらよいのか」について話し合いました。

ふで い なか み し ぶん の か つ て
筆入れの中身など、自分の物を勝手にさわられる。

あし り たり、 つつ たり、
足を引っ掛けたりして遊んでいる。

あそ び 中
遊んでいるとは言っても、エスカレートしたらいじめになってしまうかも…

い や だ と 思 っ て い て も
「やめて」と言えない子がいるかも…

だい じ ょ う ぶ
大丈夫だと思ってどんどんエスカレートしちゃうかもね。

じ ゃ っ し ょ う 中
授業中の発言を冷やかされたり、失敗や間違いをからかわれたりしている。

い や だ と 思 っ て い て も
嫌だと思っても「やめて」と言えない子がいるかも…

い や だ と 思 っ て い て も
嫌だと思っても「やめて」と言えない子がいるかも…

い や だ と 思 っ て い て も
嫌だと思っても「やめて」と言えない子がいるかも…

子どもたちの思い

自分たちの学校を一人一人が大切にされ、笑顔があふれる学校にしていこう！

些 細 な こ と が い じ め に つ な が っ て し ま う こ と を 知 る 。

傍 観 者 に な ら ず、見かけたらすぐに注意したり、助けたりしよう。

友 達 だ か ら こ そ、悪いところはお互いに注意し合おう。

自 分 の 意 見 だ け で な く、他 の 意 見 を ひ と つ ひ と つ 大 切 に し て 受 け 入 れ て い こ う 。



「いじめゼロ子どもサミット」で話し合ったことは、各校に持ち帰って、それぞれの学校での取り組みに生かしているそうじゃ。各学校では、子どもたちの思いに答えようと先生たちも一丸となって取り組んでおるそうじゃぞ。

守ろう子どもの人権 ～いじめゼロの小山市をめざして～

いじめの根絶に向けた
小山市の取り組みを紹介します。

大人の立場で 小山市いじめ等防止市民会議

いじめの根絶に向けて大人たちにできること、大人がやるべきことを協議し、市民に発信していくことをねらいとして行われているのが「小山市いじめ等防止市民会議」です。

令和元年度テーマ「ケースで考えるいじめへの対応」

講師兼コーディネーター：栃木県人権施策推進審議会 廣瀬隆人 氏

ケース① 暴力によるいじめの事例

いじめた側の子の背景も考えていかないといけないが、いじめに対し、毅然とした対応は必要！



いじめを発生させないことと同様に、いじめが起きた後の対応について考えておかななくてはならない。

いじめを許さないという覚悟を大人が共有すべき！

講話「いじめ問題の複雑さを考える」



殴ったり蹴ったりしていても、たとえ言葉であっても、いじめであり、許されることではありません！

人権教育の観点からは自分の大切さと他の人の大切さを認めることである。



大人の思い

学校だけでなく大人の社会を変えていかないといけない！

大人社会からいじめやパワハラといった問題をなくしていかないといけない。

いじめは重大な「人権問題」であるという意識が重要。

無意識に人権を侵害してしまうことが怖い。普段から自分のことを振り返る習慣をつけることが大切。

大人の社会でも、無関心・傍観者でいることの危険性を知ってもらうべきだ。

参加してくださった委員の皆さんも各団体において「大人宣言」をもとにさまざまな活動に取り組んでくださっているのじゃ。いじめを人権の問題としてとらえ、学校だけでなく、社会全体で考えるべきなのじゃな。

